

小諸市の財務諸表(平成 21 年度) 概要版

作成モデル：総務省方式改訂モデル

対象範囲：普通会計

作成基準日：平成 22 年 3 月 31 日（平成 21 年度末）

使用した基礎数値：昭和 44 年度から平成 21 年度までの「決算統計」データ及び歳入歳出決算書

普通会計財務諸表 4 表

貸借対照表

地方公共団体が行政サービスを提供するために保有している財産（資産）と、その資産をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたかを対照表示したものです。資産合計額と負債・純資産合計額が一致し、左右がバランスしていることから「バランスシート」とも呼ばれています。

資産	862 億円	負債	161 億円
【内 訳】		【内 訳】	
公共資産	763 億円	固定負債	144 億円
有形固定資産	745 億円	地方債	128 億円
売却可能資産	18 億円	退職手当引当金	16 億円
投資等	68 億円	流動負債	17 億円
投資及び出資金	1 億円	翌年度償還予定地方債	14 億円
貸付金	1 億円	翌年度支払予定退職手当	2 億円
基金等	63 億円	賞与引当金	1 億円
長期延滞債権	10 億円		
回収不能見込額	7 億円		
流動資産	31 億円	純資産	701 億円
現金預金	30 億円		
うち歳計現金	7 億円		
未収金	1 億円		
資産合計	862 億円	負債・純資産合計	862 億円

行政コスト計算書

1 年間の行政活動のうち、福祉活動やごみ収集といった資産形成に結び付かない行政サービスに係る経費と、手数料などの経常的な収益を対比したものです。

経常行政コスト(A)	147 億円
【内 訳】	
人にかかるコスト	29 億円
物にかかるコスト	43 億円
移転支的コスト	67 億円
その他のコスト	8 億円
経常収益(B)	5 億円
純経常行政コスト (A) - (B)	142 億円

資金収支計算書

1 年間の市の歳計現金（資金）の収支状況を性質別に区分したものです。

期首資金残高	7 億円
当期収支	0 億円
【内 訳】	
経常的収支	37 億円
公共資産整備収支	10 億円
投資・財務的収支	27 億円
期末資金残高	7 億円

純資産変動計算書

貸借対照表の純資産が 1 年間でどのように変動したかを表したものです。

期首純資産残高	701 億円
純経常行政コスト	142 億円
財源調達	142 億円
期末純資産残高	701 億円

（注）金額の内訳は、端数処理の関係で一致しない場合があります。